

(5)基本目標5 安心して子どもを生み、育てることができる環境づくり

【網掛け】 中心的事業

【平成28年度末達成状況】 A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

【計画達成状況】 a:順調 b:やや遅れている c:遅れている d:当該年度予定なし e:終了

5-1) 仕事と家庭の両立の推進

(単位:千円)

No.	事業名	目標	目標事業量	平成28年度末 達成状況	平成28年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	計画 達成状況	計画事業実績				平成29年度以降の方向性	所管課
							実績評価		既存統計データ(過去5年間)			
1	結婚支援事業	新規	2回/年	A	結婚を希望する40歳までの独身男女の出会いの場「かさぎの橋」を7月と12月の計2回開催した。	a	順調に実施できた。	出会いの場「かさぎの橋」実施 H24~H28:各2回 各回男女20名ずつ参加		H27 a 43 43 H28 a 43 43 H29 - 43 - H30 - - - H31 - - - 計 129 86	引き続き、結婚を希望する男女の出会いの場として、イベントを年2回開催する。	広聴課
2	結婚相談	新規	-	A	結婚を希望する男女に対し、配偶者を紹介することを目的とし、相談件数は、年間6,715件(成立13組)。	a	順調に実施できた。	相談件数 H24:5,114件(成立14組) H25:4,951件(成立16組) H26:4,851件(成立6組) H27:5,354件(成立14組) H28:6,715件(成立13組)		H27 a 2,010 2,009 H28 a 2,280 2,059 H29 - 2,379 - H30 - - - H31 - - - 計 6,669 4,068	引き続き、結婚を希望する男女に配偶者を紹介し、結婚に至るまでの相談を実施する。	広聴課
3	ワークライフバランスの推進・啓発	継続	セミナー1回/年	A	・株式会社埼玉りそな銀行との共催により、事業主や人事労務担当者等のほか、興味のある方を対象に、多様な働き方のできる雇用や職場環境づくりについてのセミナーを実施した。担当課:こども政策課  「仕事と家庭の両立を推進するためのセミナー」 開催日 平成28年12月19日 参加者 事業主・人事労務担当者等 14人(男3名 女11名)、その他市職員81人	b	市職員研修と兼ねて開催した。セミナーの案内を市内の事業所に幅広く配布したが、一般参加者は少ない状況が続いた。	H24:セミナー1回参加者数32名 H25:セミナー1回参加者数26名 H26:セミナー1回参加者数26名 H27:セミナー1回参加者数19名 H28:セミナー1回参加者数95名(一般14名、市職員81名)		H27 b 95 2 H28 b 95 52 H29 - 95 - H30 - - - H31 - - - 計 285 54 ※雇用支援課・男女共同参画課・こども政策課合算額	協力して子育てができる環境づくりや女性の活躍推進のため、セミナーやHP等を通じてワーク・ライフ・バランスを推進・啓発していく。 セミナーについては、事業主や企業の人事労務担当者に限らず、興味を持つ一般の方も参加できるようにして、職場環境づくりや取得できる休暇等について幅広く周知していく。	雇用支援課 男女共同参画課 こども政策課
4	両立支援に係る好事例の情報提供	新規	-	A	ホームページにて、埼玉県多様な働き方実践企業の情報を提供	a	ホームページにて、埼玉県多様な働き方実践企業の情報を提供	H27:掲載企業 プラチナ6社 ゴールド39社 シルバー72社 H28:掲載企業 プラチナ6社 ゴールド49社 シルバー76社		H27 a - - H28 a - - H29 - - - H30 - - - H31 - - - 計 0 0	引き続きホームページにて埼玉県多様な働き方実践企業の情報を提供する	雇用支援課
5	女性の就労支援事業	継続	6講座/年	A	女性の就労支援や資格取得を目標とした講座を実施する。 ・宅建基礎講座23回のべ588名 ・医療事務講座20回のべ343名 ・介護事務講座16回のべ258名 ・色彩検定3級講座8回のべ174名 ・FP技能士3級講座12回のべ288名 ・美文字講座10回のべ189名	a	順調に実施できた。	H24 受講者数のべ1,535名 H25 受講者数のべ1,769名 H26 受講者数のべ1,440名 H27 受講者数のべ891名 H28 受講者数のべ1,840名		H27 a 3,120 3,120 H28 a 3,120 3,120 H29 - 3,120 - H30 - - - H31 - - - 計 9,360 6,240 ※5-(1)-No.6の一部を含む	就労支援のため、資格取得講座や各種研修会等の充実に努める。	男女共同参画課

6	家庭における男性の参画促進	継続	情報誌 2回/年 講座 10回/年	A	市民との協働委託事業として、情報紙(イーブン)を年2回各5,000部発行した。また家庭生活において男女が協力し、安心して子育てや介護ができる環境づくりのための各種講座を実施した。12講座実施。また、国・県と協力して各種セミナーの案内や育児休業等のリーフレットを配布した。	a	順調に情報誌の発行及び講座の実施ができた。	H24 第36号、第37号各5,000部発行 受講者数のべ718名	H25 第38号、第39号各5,000部発行 受講者数のべ703名	H26 第40号、第41号各5,000部発行 受講者数のべ464名	H27 第42号、第43号各5,000部発行 受講者数のべ1,025名	H28 第44号、第45号各5,000部発行 受講者数のべ1,064名	H27 a 600 600 H28 a 600 600 H29 - 600 - H30 - - - H31 - - - 計 1,800 1,200	引き続き、情報紙の発行を通じて、男女共同参画社会の形成を目指した社会的気運の醸成に努める。また、男女が共に子育てや介護など家庭生活における責任を果たす男女共同参画の促進のために、男女共同参画に関する各種講座の充実に努める。	男女共同参画課
								※5-(1)-No.5に一部含める							

【網掛け】 中心的事業

【平成28年度未達成状況】 A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

【計画達成状況】 a:順調 b:やや遅れている c:遅れている d:当該年度予定なし e:終了

5-(2) 地域における子育て支援サービスの充実

(単位:千円)

No.	事業名	目標	目標事業量	平成28年度末 達成状況	平成28年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	計画 達成状況	計画事業実績				平成29年度以降の方向性	所管課
							実績評価		既存統計データ(過去5年間)	年度		
1	地域子育て支援拠点事業	拡充	平成31年度 25箇所	A	子育て支援拠点を新たに3箇所設置した。また、法人を含めた子育て支援拠点施設の周知を図るため、各施設のイベント他情報をホームページに掲載した。また、川越市子育て支援センターを中心に実務者を集めた連絡会議を開催し、施設間で情報の交換や共有を図った。【設置箇所数 計23箇所】	a	子育て支援拠点の設置は、市内23箇所となり、保護者の子育ての不安感を緩和すること、子どもの健やかな育ちを支援することに役立っている。設置箇所数は順調に推移していると考えられる。	H24 子育て支援センター(公立1箇所、法人2箇所) つどいの広場(公立1箇所、法人10箇所)計14箇所を実施。 H25 子育て支援センター(公立1箇所、法人2箇所) つどいの広場(公立1箇所、法人10箇所)計14箇所を実施。 H26 子育て支援センター(公立1箇所、法人2箇所) つどいの広場(公立2箇所、法人13箇所)計18箇所を実施。 H27 子育て支援センター(公立1箇所*法人2箇所はつどいの広場に移行) つどいの広場(公立3箇所、法人17箇所)計21箇所を実施。 H28 子育て支援センター(公立1箇所) つどいの広場(公立3箇所、法人19箇所)計23箇所を実施。	H27 b 122,724 115,482 H28 a 134,846 132,012 H29 - 143,984 - H30 - - - H31 - - - 計 401,554 247,494	川越市子育て支援センター(ウエスタ川越内)を当事業の統括的な役割に位置付け、業務委託先の法人子育て支援拠点施設に対し、市としての当事業の実施内容の方向性をより具体的に示していくこと、及び利用率の上がらない拠点に対する適切な改善策を見つけていくことに努めることでつどいの広場の質の均一化を図る。また、多様な子育て家庭のニーズに応じた支援を充実させ、地域における子育て支援の強化を図っていく。	こども育成課	
2	子育てサロン事業	継続	-	A	乳幼児をもつ親が交流できる場を設け、コミュニケーションを促進し、子育ての孤立化を防ぐため、子育てサロンの全市的展開をすすめた。 開催公民館:17公民館 サロン開催数:23サロン サロン延べ開催数:293回 参加者延べ人数:9,396人	a	サロンを開設したことによって、親同士の交流を深め、子育てに関する相談に応じたり、子育ての孤立化を防止することができた。	開催公民館 H24 17館 H25 17館 H26 17館 H27 17館 H28 17館 サロン開催数 H24 21サロン H25 21サロン H26 21サロン H27 23サロン H28 23サロン サロン延べ開催数 H24 312回 H25 312回 H26 308回 H27 291回 H28 293回 参加者延べ人数 H24 12,408人 H25 12,758人 H26 12,698人 H27 9,254人 H28 9,396人	H27 a 2,295 2,201 H28 a 2,352 2,199 H29 - 2,422 - H30 - - - H31 - - - 計 7,069 4,400	乳幼児をもつ親が交流できる場を設け、コミュニケーションを促進し、子育ての孤立化を防ぐため、子育てサロンの全市的展開をすすめる。	中央公民館	

3	赤ちゃんの駅事業	新規	130箇所	A	市内の公共施設38箇所を「赤ちゃんの駅」として指定。埼玉県との共催事業として民間施設においても「赤ちゃんの駅」を実施し、川越市内で合計137箇所の施設を登録。乳幼児を運れた保護者が安心してイベントに参加できる環境づくりとして「移動式赤ちゃんの駅」の貸出を行った。貸出実績：5件	a	市内の公共施設38箇所を「赤ちゃんの駅」として指定して、授乳及びおむつ替等のスペースを提供した。また、埼玉県との共催事業として民間施設においても「赤ちゃんの駅」を実施し、川越市内で合計137箇所の施設を登録。登録施設には「赤ちゃんの駅」ステッカー等を標示している。	H24 市公共施設41箇所 川越市内126箇所 H25 市公共施設41箇所 川越市内127箇所 H26 市公共施設41箇所 川越市内132箇所 H27 市公共施設38箇所 川越市内137箇所 H28 市公共施設38箇所 川越市内137箇所	H27 a - - - H28 a - - - H29 - - - - H30 - - - - H31 - - - - 計 0 0	引続き、埼玉県と協力して「赤ちゃんの駅」事業を広く周知し、指定施設を増やして乳幼児連れの保護者が安心して外出できる環境の整備を図る。	こども育成課
4	パパ・ママ応援ショップ事業	継続	900箇所	A	中学生までの子どもまたは妊娠中の方がいる家庭を応援するため、店舗等で割引などのサービスが受けられる応援ショップ事業を埼玉県と共同して実施した。市内協賛店舗・施設数936箇所。広報やHP等で事業の周知を図り、優待カードを母子手帳交付時、未就学児のいる世帯の県外からの転入手続き時に配布した。	a	広報やHP等で事業の周知を図り、優待カードを母子手帳交付時、未就学児のいる世帯の県外からの転入手続き時に配布した。市内協賛店舗・施設数は936箇所と増えており認知度が上がっている。	市内協賛店舗・施設数 H24 751箇所 H25 835箇所 H26 884箇所 H27 911箇所 H28 936箇所	H27 a - - - H28 a - - - H29 - - - - H30 - - - - H31 - - - - 計 0 0	市内の店舗・施設には協賛店として協力していただけるように事業の周知を図る。また、平成29年8月から対象年齢が拡大されるため、新たに対象となる世帯に、市立中学校を通し新優待カードの配布を行う。	こども育成課
5	子育てサポーター養成講座	継続	-	A	地域の子育てを支援する、子育てサポーターを養成する講座を開催した。2館、2講座、開催数9回 参加者延べ人数：148人	a	講座を開設したことによって子育て世代の参加者には自らの子育ての参考にしてもらうとともに、新たな子育てサロン等のスタッフを養成し、今後のサロン活動の充実につなげることができた。 【家庭教育講座及び成人教育講座】 予算額：8,489千円 決算額：7,010千円	H24 3館3講座開催数18回 参加者延べ人数：186人 H25 3館3講座開催数14回 参加者延べ人数：183人 H26 5館4講座開催数17回 参加者延べ人数：168人 H27 2館2講座開催数9回 参加者延べ人数：122人 H28 2館2講座開催数9回 参加者延べ人数：148人	H27 a 138 153 H28 a 139 145 H29 - 139 - H30 - - - H31 - - - 計 416 298 ※家庭教育講座及び成人教育講座の一部	地域の子育てを支援する、子育てサポーターを養成する講座を開催する。	中央公民館
6	育児サークル支援	拡充	サークル交流会 1回/年 サークルへの支援 45回/年	B	サークル交流会を開催し、サークル間の交流を促進した。 【サークル交流会 1回】 公民館等で活動する子育てサークルからの依頼により、出張支援を実施した。 【サークル支援 34回 844人】	b	サークル間の活動内容等の情報交換の場を提供し、交流の促進を図ることで、サークルが活性化し、子育てをする保護者達が悩みや喜びを共有することのできる貴重な場となる。毎年サークル交流会を開催することができており、順調に推移していると考え。出張支援を実施することで、育児に関する知識の普及の他、活動の取組のヒントを提供することにより、サークル活動の継続と活性化につながった。	H24 サークル交流会1回10サークル 出張支援33回679人 H25 サークル交流会1回7サークル 出張支援59回1,205人 H26 サークル交流会1回7サークル 出張支援41回958人 H27 サークル交流会1回10サークル 出張支援31回611人 H28 サークル交流会1回7サークル 出張支援34回844人	H27 b - - - H28 b - - - H29 - - - - H30 - - - - H31 - - - - 計 0 0	子育てサークル交流会の開催を通して子育てサークルの活動が充実し継続していきよう引き続き支援を行っていく。また、育児サークルへの出張支援等を通じて、サークルの活性化を図る。	こども育成課

【網掛け】 中心的事業  
 【平成28年度未達成状況】 A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了  
 【計画達成状況】 a:順調 b:やや遅れている c:遅れている d:当該年度予定なし e:終了

5-(3) 子どもの健全育成の取組

(単位:千円)

No.	事業名	目標	目標事業量	平成28年度未達成状況	平成28年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	計画達成状況	計画事業実績				平成29年度以降の方向性	所管課
							実績評価		既存統計データ(過去5年間)			
1	児童手当	継続	—	A	家庭等における生活の安定に寄与するとともに、次世代の社会を担う児童の健やかな成長に資するため、児童手当を支給した。 総支給額 5,522,885,000円 延べ児童数 510,674人	a	児童手当を支給し、家庭等における生活の安定に寄与するとともに、次世代の社会を担う児童の健やかな成長に資することができた。	H24: 総支給額4,718,355,000円 延べ児童数429,821人 H25: 総支給額5,684,400,000円 延べ児童数521,118人 H26: 総支給額5,648,835,000円 延べ児童数519,186人 H27: 総支給額5,581,055,000円 延べ児童数513,886人 H28: 総支給額5,522,885,000円 延べ児童数510,674人	H27 a 5,629,253 5,581,055 H28 a 5,572,985 5,522,885 H29 - 5,435,870 - H30 - - - H31 - - - 計 16,638,108 11,103,940	家庭等における生活の安定に寄与するとともに、次世代の社会を担う児童の健やかな成長に資するため、引き続き適正に児童手当を支給する。	こども政策課	
2	児童遊園の整備	継続	—	B	市内147箇所の子どもの城について、平成27年度に実施した安全点検等に基づき、遊具の修繕を行った。 ・遊具の修繕等 延べ45箇所	b	全体として45箇所の修繕を行ったが、点検業者が特に劣化が著しく、危険と判断した遊具の交換修繕等については、33基中23基実施し、約70%の実施率であった。	遊具の修繕 H24 延べ98箇所 H25 延べ41箇所 H26 延べ47箇所 H27 延べ35箇所 H28 延べ45箇所	H27 b 9,500 9,457 H28 b 11,475 11,464 H29 - 12,000 - H30 - - - H31 - - - 計 32,975 20,921	児童遊園は設置から30～40年経過した所が多く、年々点検で指摘を受ける遊具が増加している状況であるが、予算の範囲内で可能な限り修繕を実施し、遊具の安全性確保を進めていく。	こども育成課	
3	児童館機能の整備 (児童センター子どもの城) (川越駅東口児童館) (高階児童館)	拡充	—	A	◎児童センター子どもの城 ○開館日数 309日 ○利用者数 73,285人 【内訳】・個人利用 45,648人 ・団体利用 401人 ・集団指導 23,144人 ・天文部門 4,092人 【実施事業及び参加者数】 ・乳幼児と保護者対象 240回 9,852人 ・学童対象 173回 1,865人 ・児童対象 446回 11,427人 ・プラネタリウム 3,909人 ・天体観測室 183人 ◎川越駅東口児童館 ○開館日数 308日 ○利用者数 41,404人 【内訳】・個人利用 33,099人 ・団体利用 54人 ・集団指導 8,251人 【実施事業及び参加者数】 ・乳幼児と保護者対象 174回 7,175人 ・学童対象 83回 824人 ・児童対象 14回 252人 ◎高階児童館 ○開館日数 308日 ○利用者数 57,647人 【内訳】・個人利用 45,431人 ・団体利用 0人 ・集団指導 12,216人 【実施事業及び参加者数】 ・乳幼児と保護者対象 166回 9,742人 ・学童対象 42回 629人 ・児童対象 77回 1,845人	a	利用者ニーズの多様化を踏まえつつ、市民ボランティア等事業協力者、関係各課・機関・団体等と連携して、青少年健全育成及び子育て支援に係る各種サービスを、3館合わせ延べ172,336人に提供した。	児童センター子どもの城 ○開館日数 1,480日 ○利用者数 336,023人 (過去5年間計) 川越駅東口児童館 ○開館日数 1,539日 ○利用者数 242,632人 (過去5年間計) 高階児童館 ○開館日数 1,539日 ○利用者数 264,441人 (過去5年間計)	H27 a 63,936 61,536 H28 a 59,987 57,438 H29 - 60,461 - H30 - - - H31 - - - 計 184,384 118,974	青少年健全育成及び子育て支援に係る各種サービスの提供に努める。	こども育成課	

4	都市公園の整備	拡充	改修数 20箇所/年	A	市民サービス向上のため、公園の施設改修や新規整備を実施。実施公園数28公園 その他 ・砂場の浄化 114公園 ・遊具等の保守点検 185公園	a	市民へ安全に公園を提供するため、遊具等の保守点検や砂場浄化などの維持管理に努めた。	公園の整備及び改修・補修 H24: のべ20箇所 H25: のべ54箇所 H26: のべ10箇所 H27: のべ16箇所 H28: のべ28箇所	H27 a 244,300 218,418 H28 a 291,096 200,896 H29 - 74,790 - H30 - - - H31 - - - 計 610,186 419,314	良好な避難場所の提供や、改修・補修による利用者の安全確保を行い、市民生活の向上を図る。	公園整備課
5	人権保育	継続	—	A	川越市人権保育推進委員会に対する助成を行うとともに、保育所において人権保育を推進している。	a	川越市人権保育推進委員会主催の人権講演会の実施、人権関係の絵本の購入などを通し、人権保育を推進することができた。	H24 人権講演会・研修会 H25 人権講演会・研修会 H26 人権講演会・研修会 H27 人権講演会・研修会 H28 人権講演会・研修会	H27 a 720 720 H28 a 450 450 H29 - 720 - H30 - - - H31 - - - 計 1,890 1,170	人権保育の推進を図っていく。	保育課
6	青少年を育てる市民会議	継続	—	A	青少年健全育成活動が、市民総ぐるみで推進されるよう、関係機関・団体と協働して各種事業を実施する。 ・地区会議活動費補助 22地区 ・青少年健全育成市民大会参加者 500名	a	・全22地区への地区会議活動費補助により、青少年健全育成活動が各地区で活発に実施された。 ・青少年健全育成市民大会を開催し、多くの市民が参加した。感謝状贈呈・青少年育成活動顕彰・青少年地域活動顕彰・少年の主張作文優秀作品の表彰・講演・少年の主張作文発表・第15回少年の翼体験発表・大会宣言・青少年健全育成事例発表等、盛況に行われた。	H24 ・地区会議活動費補助22地区 ・モデル地区補助事業6地区 ・青少年健全育成市民大会参加者91名 H25 ・地区会議活動費補助22地区 ・モデル地区補助事業7地区 ・青少年健全育成市民大会参加者500名 H26 ・地区会議活動費補助20地区 ・青少年健全育成市民大会参加者500名 H27 ・地区会議活動費補助22地区 ・青少年健全育成市民大会参加者500名 H28 ・地区会議活動費補助22地区 ・青少年健全育成市民大会参加者500名	H27 a 2,906 2,906 H28 a 2,906 2,906 H29 - 3,026 - H30 - - - H31 - - - 計 8,838 5,812	引き続き、市民会議会員である機関・団体の連携の下、市民総ぐるみの青少年健全育成の推進を図っていく。	こども育成課
7	こども110番の家	継続	—	A	こども110番の家看板の市内統一を図るため、平成25年度及び26年度の2箇年計画で看板の作製・交換を行った。平成27年度は、運営主体である地域・PTAに対し110番の家登録状況に関する照会をかけ、登録情報の把握を行った上で、地域・学校・PTAにおけるこども110番の家協力者名簿の共有化を図り、子どもたちが安全に生活する環境の整備に努めた。平成28年度は、地域・PTAの要望に応じて、看板の配布を行った。	a	こども110番の家看板を市内全域で統一することができ、子どもたちが安全に生活する環境整備を推進できた。	H24川越市青少年を育てる地区会議子ども110番の家事業運営活動費助成金 H25川越市青少年を育てる市民会議事業補助金 146,404円 こども110番の家看板作製費用 640,500円 H26川越市青少年を育てる市民会議事業補助金 155,900円 こども110番の家看板作製費用 702,000円 H27 H25及びH26で看板作製は完了しているため、0円 H28 H25及びH26で看板作製は完了しているため、0円	H27 a - - H28 a - - H29 - - - H30 - - - H31 - - - 計 0 0	こども110番の家協力者名簿の更新など継続的な事業の仕組みづくりを整備する。	こども育成課

8	地域子どもサポート推進事業(学校応援団推進事業(学校支援地域本部事業)、放課後子供教室事業を含む)	拡充 事業に携わる人数 年20,000人	A	子どもサポート事業への参加者数 50,841人 各地区の事業合計数 1,450 サポート委員の合計数 629人 学校応援団活動の合計数 1,311回  市内14地区に分かれ、各地区での事業が活発に行われた。	a	市内14地区全体での活動が13年目を迎え、各地区の活動が安定して行われている。参加者も年々増え、活動内容の充実が図られている。	○子どもサポート事業への参加者数 H24 33,696人(前年比151.8%) H25 32,848人(前年比97.4%) H26 32,935人(前年比100.2%) H27 41,765人(前年比126.8%) H28 50,814人(前年比121.7%) ○各地区の事業合計数 H24 352(前年比130.9%) H25 709(前年比201.4%) H26 734(前年比103.5%) H27 1,881(前年比256.2%) H28 1,450(前年比77.1%) ○サポート委員の合計数 H24 607人(前年比106.1%) H25 615人(前年比101.3%) H26 637人(前年比103.5%) H27 660人(前年比103.6%) H28 629人(前年比95.3%) ○学校応援団活動の合計数 H24 225(前年比156.3%) H25 569(前年比252.8%) H26 592(前年比104.0%) H27 1,725(前年比291.3%) H28 1,311(前年比76.0%)	<table border="1"> <tr><td>H27</td><td>a</td><td>3,923</td><td>3,790</td></tr> <tr><td>H28</td><td>a</td><td>3,810</td><td>3,690</td></tr> <tr><td>H29</td><td>-</td><td>3,821</td><td>-</td></tr> <tr><td>H30</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>H31</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>計</td><td>-</td><td>11,554</td><td>7,480</td></tr> </table>	H27	a	3,923	3,790	H28	a	3,810	3,690	H29	-	3,821	-	H30	-	-	-	H31	-	-	-	計	-	11,554	7,480	それぞれの地域の特色を生かした事業が活発に展開されている。一部のスタッフに負担が偏らないよう、情報交換・合同事業・人材発掘等を行っていく。	地域教育支援課
H27	a	3,923	3,790																															
H28	a	3,810	3,690																															
H29	-	3,821	-																															
H30	-	-	-																															
H31	-	-	-																															
計	-	11,554	7,480																															
9	民生委員・児童委員研修会	継続 3回/年	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員・児童委員課題別研修 128人</li> <li>・現任主任児童委員研修 15人</li> <li>・民生委員・児童委員協議会会長研修 20人</li> <li>・民生委員・児童委員協議会副会長研修 22人</li> <li>・新任民生委員・児童委員及び主任児童委員研修 186人</li> </ul> 民生委員・児童委員研修を実施し、子どもに関する様々な問題に対応できるよう努めた。	a	民生委員・児童委員研修を実施し、子どもに関する様々な問題に対応するための知識・スキル等の向上を図ることができた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中堅民生委員・児童委員研修 H24:75人</li> <li>・民生委員・児童委員課題別研修(H25～)</li> <li>H25:95人 H26:117人 H27:122人 H28:128人</li> <li>・現任主任児童委員研修 H24:19人 H25:17人 H26:17人 H27:16人 H28:15人</li> <li>・新任主任児童委員研修 H24:1人</li> <li>・新任民生委員・児童委員及び主任児童委員研修 H24:7人 H25:206人 H26:20人 H27:11人 H28:186人</li> <li>・民生委員・児童委員新任副会長研修 H25:16人 H28:22人</li> <li>・民生委員・児童委員協議会会長研修 H25:20人 H28:20人</li> <li>・民生委員・児童委員協議会会長・副会長研修 H26:44人 H27:44人</li> </ul>	<table border="1"> <tr><td>H27</td><td>a</td><td>90</td><td>67</td></tr> <tr><td>H28</td><td>a</td><td>160</td><td>160</td></tr> <tr><td>H29</td><td>-</td><td>100</td><td>-</td></tr> <tr><td>H30</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>H31</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>計</td><td>-</td><td>350</td><td>227</td></tr> </table>	H27	a	90	67	H28	a	160	160	H29	-	100	-	H30	-	-	-	H31	-	-	-	計	-	350	227	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員・児童委員研修</li> <li>・民生委員・児童委員課題別研修</li> <li>・現任主任児童委員研修</li> <li>・民生委員・児童委員協議会会長・副会長研修</li> <li>・新任民生委員・児童委員及び主任児童委員研修</li> </ul> 民生委員・児童委員研修を実施し、子どもに関する様々な問題に対応できるよう努める。	福祉推進課
H27	a	90	67																															
H28	a	160	160																															
H29	-	100	-																															
H30	-	-	-																															
H31	-	-	-																															
計	-	350	227																															

【網掛け】 中心的事業

【平成28年度未達成状況】 A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

【計画達成状況】 a:順調 b:やや遅れている c:遅れている d:当該年度予定なし e:終了

5-(4) 安全・安心なまちづくり

(単位:千円)

No.	事業名	目標	目標事業量	平成28年度未達成状況	平成28年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	計画達成状況	計画事業実績				平成29年度以降の方向性	所管課
							実績評価		既存統計データ(過去5年間)			
1	交通安全教育	拡充	180回/年 21,000人	A	幼児・児童・母親及び高齢者に対する交通安全思想の普及を図るため実施した。 192回 17,197人	a	毎年度、市内各小学校を中心に交通安全教育を実施し、交通安全思想を普及することができた。	H24年度 安全教育160回 参加者15,926人 H25年度 安全教育160回 参加者15,661人 H26年度 安全教育178回 参加者17,050人 H27年度 安全教育178回 参加者16,805人 H28年度 安全教育192回 参加者17,197人	H27 a 3,658 2,951 H28 a 4,500 4,190 H29 - 2,245 - H30 - - - H31 - - - 計 10,403 7,141	幼児・児童・母親及び高齢者に対する交通安全思想の普及を図るため実施する。	防犯・交通安全課	
2	児童の登校時の交通の安全確保	継続	-	A	児童・生徒の登校時における交通安全の確保・正しい交通ルールとマナーの指導を図るために実施した。 朝の立哨回数 9,309回	a	市内各小学校の登校日における、立哨指導を実施し、児童・生徒の登校時における交通安全の確保を図った。	H24年度 朝の立哨回数9,265回 H25年度 朝の立哨回数9,364回 H26年度 朝の立哨回数9,343回 H27年度 朝の立哨回数9,536回 H28年度 朝の立哨回数9,309回	H27 a 11,450 11,443 H28 a 10,500 10,189 H29 - 11,755 - H30 - - - H31 - - - 計 33,705 21,632	児童・生徒の登校時における交通安全の確保・正しい交通ルールとマナーの指導を図るために実施する。	防犯・交通安全課	
3	安全・安心な通学路の確保	継続	-	A	児童・生徒の通学路については、学校や地域の実情に応じ、交通事故及び不審者等からの児童生徒の安全確保のために、日常点検及び定期点検を実施した。 通学路の点検結果をもとに、登下校時の安全に係る相談や通学路の整備に係る要望がある場合には、他課と連携して、通学路の整備を通して児童・生徒安全の確保に努めた。	a	毎年度、通学路点検を全校で実施している。また、一斉合同点検で対策必要箇所となった場所について、各学校に働きかけを行い、100%対策済みとなった。	H24 通学路点検全校実施 H25 通学路点検全校実施 39/54箇所(対策済み/対策必要箇所) H26 通学路点検全校実施 43/54箇所(対策済み/対策必要箇所) H27 通学路点検全校実施 52/54箇所(対策済み/対策必要箇所) H28 通学路点検全校実施 54/54箇所(対策済み)	H27 a - - H28 a - - H29 - - - H30 - - - H31 - - - 計 0 0	引き続き通学時の事故防止に向け学校及び関係各所と連携しながら通学路の点検整備を進める。	教育指導課	
		継続	-	A	路面標示等による通学路の事故防止対策を35箇所実施した。	a	毎年度、各小中学校から提出される通学路安全点検票に基づき、路面標示等による通学路安全対策を実施した。また、地元自治会等からの要望に対しても安全対策を実施した。	H24 路面標示120箇所 H25 路面標示54箇所 H26 路面標示30箇所 H27 路面標示34箇所 H28 路面標示35箇所	H27 a 15,000 13,171 H28 a 15,000 14,339 H29 - 15,000 - H30 - - - H31 - - - 計 45,000 27,510	引き続き緊急度の高いものから順次実施する。	防犯・交通安全課	
4	防犯推進体制の整備	継続	自主防犯活動を行っている団体数(自治会・PTA等) 310団体/年	A	行政においては庁内関係部署による連絡会議・連携に努め、地域や警察関係との連携方策に取り組んだ。地域においては自治会を中心とした活動や地域防犯推進委員等の活動の充実を図れるよう支援するとともに、「地域の安全は地域で守る」という認識に立ち、地域の推進体制整備に努めた。その結果、数年間横ばいであった団体数が増加し、目標達成となった。 ・自主防犯活動を行っている団体数326団体	a	人員確保や高齢化等の問題から、数年間ほぼ同数の団体数で推移していたが、各種防犯事業を継続推進した結果、平成28年度は自主防犯活動団体が24団体増加した。	自主防犯活動を行っている団体数 H24:301団体 H25:303団体 H26:302団体 H27:302団体 H28:326団体	H27 a - - H28 a - - H29 - - - H30 - - - H31 - - - 計 0 0	行政においては庁内関係部署による連絡会議・連携に努め、地域や警察関係との連携方策に取り組む。また、地域、事業所及び関係団体等と協働で、「地域の安全は地域で守る」という認識に立ち、自治会を中心とした地域における防犯推進体制の整備に努める。	防犯・交通安全課	

5	犯罪情報・防犯情報の提供	継続	メール配信サービスの登録件数 11,000件	C	小江戸川越防犯のまちづくり情報メール配信サービス等により、犯罪情報等を配信し、行政・警察・事業所・地域住民が情報の共有化を図ることで、連携の強化と地域における自主防犯活動の促進に努めた。メール配信サービスについては、平成27年1月のシステム変更に伴い平成26年度末は大きく減少したが、各種周知により、平成28年度末には5,987件まで増加した。	c	各種イベント、防犯のまちづくり出前講座等あらゆる機会を通じて呼びかけてきた結果、登録件数は増加したものの、伸び悩んでいる。	登録状況 H24:8,243件 H25:8,074件 H26:3,682件 H27:5,567件 H28:5,987件	H27 c 2,229 1,685 H28 c 1,685 1,685 H29 - 1,685 - H30 - - - H31 - - - 計 5,599 3,370	随時、犯罪情報等を配信し、行政・警察・事業所・地域住民が情報の共有化を図ることで、連携の強化と地域における自主防犯活動の促進に引き続き努める。小江戸川越防犯のまちづくり情報メール配信サービスの充実に引き続き務める。	防犯・交通安全課
6	公営住宅における優先入居	継続	-	A	登録方式による入居募集に際し、母子世帯、多子世帯を対象に優遇して登録を行った。  【母子世帯の登録数】11世帯 【多子世帯の登録数】2世帯	a	住宅困窮度判定基準に基づき、母子世帯、多子世帯を優先して登録できた。	H24(入居は25年度) 【母子世帯の登録数】23世帯 【多子世帯の登録数】1世帯 H25(入居は26年度) 【母子世帯の登録数】22世帯 【多子世帯の登録数】0世帯 H26(入居は27年度) 【母子世帯の登録数】4世帯 【多子世帯の登録数】0世帯 H27(入居は28年度) 【母子世帯の登録数】9世帯 【多子世帯の登録数】2世帯 H28(入居は29年度) 【母子世帯の登録数】11世帯 【多子世帯の登録数】2世帯	H27 a - - H28 a - - H29 - - - H30 - - - H31 - - - 計 0 0	住宅困窮度判定基準に基づき、原則として、登録方式での優遇を中心に行っていく。	建築住宅課

【網掛け】 中心的事業

【平成28年度末達成状況】 A: 順調 B: やや遅れている C: 遅れている D: 当該年度予定なし E: 終了

【計画達成状況】 a: 順調 b: やや遅れている c: 遅れている d: 当該年度予定なし e: 終了

5- (5) 子育て情報提供の充実

(単位:千円)

No.	事業名	目標	目標事業量	平成28年度末達成状況	平成28年度の事業実績【目標事業量に対する実績値】	計画達成状況	計画事業実績				平成29年度以降の方向性	所管課
							実績評価		年度	進捗状況		
1	利用者支援事業(基本型)(特定型)(母子保健型)	新規	平成31年度1箇所	A	<p>(基本型) 平成28年度から子育て支援センターにおいて、利用者支援事業(基本型)を開始し、子育て家庭の身近な場所で、子育ての悩み、不安な事、子育ての制度・助成に関すること、どこに聞いたら良いかわからない事など、様々な相談に応じることで子育ての不安感や孤立感の解消を図った。</p> <p>(特定型) 平成28年度6月から保育課窓口、保育コンシェルジュを設置し、保育園情報情報や保育の審査基準、一時保育等、保育を希望される方からの相談や悩みごとの解消ができた。</p> <p>(母子保健型) 平成28年度から総合保健センターにおいて、利用者支援事業(母子保健型)を開始し、妊娠期から子育て期にわたる様々な悩みごとについて相談に応じ、妊産婦等の心身の不調や育児不安の軽減を図った。</p>	a	<p>個別のニーズに合わせて子育て支援の施設やサービス等の情報を提供し、円滑に利用できるようサポートすることで、川越市の子育て支援の資源が子育て家庭に浸透するよう努める。</p> <p>保育を希望される方からの入園に関する相談を受け、保護者の希望や就労状況を確認し、認可保育園や家庭保育室、一時預かり保育など個別のニーズに合った施設や保育サービスの提供に努める。</p> <p>妊娠届出時の面接や電話での相談支援を行えた。また、電話、来所等による相談も行えた。</p>	<p>H27 0箇所 H28 3箇所(基本型1、特定型1、母子保健型1)</p> <p>H27 d - - H28 a 1,452 309 H29 - 171 - H30 - - - H31 - - - 計 1,623 309</p> <p>H27 d - - H28 a 0 0 H29 - 0 - H30 - - - H31 - - - 計 0 0</p> <p>H27 d - - H28 a 6,105 5,901 H29 - 10,800 - H30 - - - H31 - - - 計 16,905 5,901</p>	<p>事業内容や利用方法などについて様々な媒体を活用して周知を図っていく。子育て家庭の身近な場所で、子育ての悩み、不安な事、子育ての制度・助成に関すること、どこに聞いたら良いかわからない事など、様々な相談に応じることで子育ての不安感や孤立感の解消を図る。個別のニーズに合わせて子育て支援の施設やサービス等の情報を提供し、円滑に利用できるようサポートすることで、川越市の子育て支援の資源が子育て家庭に浸透するよう努める。</p> <p>保育を希望される方からの入園に関する相談を受け、個別のニーズに合った施設や保育サービスの提供に努める。</p> <p>母子保健コーディネーター(助産師等)を増員し、相談体制の充実を図るとともに、引き続き周知を図っていく。</p>	<p>こども育成課</p> <p>保育課</p> <p>健康づくり支援課</p>		



2	子育て情報発信活動	継続 子育て情報誌年間発行部数 年15,000部	A	各施策、各相談窓口など出産や子育てに関する情報を幅広く掲載した子育て情報誌「こえどちゃん」を発行して、母子手帳交付時、未就学児世帯の転入手続き時、そのほか希望者に配布し、情報提供の推進を図った。	a	子育て情報誌(こえどちゃん)については、母親たちの視点を取り入れて閲覧しやすい内容とするとともに、目標事業量を上回る部数を発行するなど、子育て情報を幅広く周知することができた。	情報誌「こえどちゃん」 H24 H24配布 6,500冊 H25 H25配布用作成 7,000冊 H25 H25配布 7,000冊 H26 H26配布用作成 8,000冊 H26 H26配布 8,000冊 H27 H27配布用作成19,500冊 H27 H27配布 19,500冊 H28 H28配布用作成20,000冊 H28 H28配布 20,000冊 H29 H29配布用作成 20,000冊	<table border="1"> <tr><td>H27</td><td>a</td><td>88</td><td>88</td></tr> <tr><td>H28</td><td>a</td><td>119</td><td>119</td></tr> <tr><td>H29</td><td>-</td><td>128</td><td>-</td></tr> <tr><td>H30</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>H31</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td>335</td><td>207</td></tr> </table>	H27	a	88	88	H28	a	119	119	H29	-	128	-	H30	-	-	-	H31	-	-	-	計		335	207	より多くの方にご覧いただけるよう配布窓口を増やすとともに、引き続き電子ブック化によりパソコン、スマートフォンからも閲覧しやすい環境を作る。	こども政策課
H27	a	88	88																															
H28	a	119	119																															
H29	-	128	-																															
H30	-	-	-																															
H31	-	-	-																															
計		335	207																															
3	子育て情報メール配信事業	継続 メール配信サービスの登録件数 1,000件	A	子育てコーナーや、市のホームページ及びモバイルサイトを整備して、子育て情報を簡単に取得できるように努めるとともに、メール配信サービスで登録者が必要とする情報を積極的に配信した。	a	ホームページ、官民協働事業による検索性の高い子育て応援サイト(ママフレ)、モバイルサイト、メール配信等、様々な周知方法を整備し、より多くの人に必要な情報が行き届くよう工夫した。	H24 メール配信登録件数1,031件 メール配信数 124件 情報誌 6,500冊配布 H25 メール配信登録件数1,111件 メール配信数 98件 情報誌 7,000冊配布 H26 メール配信登録件数1,889件 メール配信数 106件 情報誌 8,000冊配布 H27 メール配信登録件数2,844件 メール配信数 93件 情報誌 19,500冊配布 H28 メール配信登録件数3,149件 メール配信数 122件 情報誌 20,000冊配布	<table border="1"> <tr><td>H27</td><td>a</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>H28</td><td>a</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>H29</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>H30</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>H31</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td>0</td><td>0</td></tr> </table>	H27	a	-	-	H28	a	-	-	H29	-	-	-	H30	-	-	-	H31	-	-	-	計		0	0	市のHP、官民協働事業による検索性の高い子育て応援サイト(ママフレ)、モバイルサイト、メール配信等を活用し、子育て支援サービスのメニューや手続方法の周知を図っていく。	こども政策課
H27	a	-	-																															
H28	a	-	-																															
H29	-	-	-																															
H30	-	-	-																															
H31	-	-	-																															
計		0	0																															